

都市再生整備計画 事後評価シート
花巻中央地区

令和8年3月

岩手県花巻市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県	市町村名	花巻市	地区名	花巻中央地区(都市再構築戦略事業)			面積	76ha						
交付期間	H28~R1	事後評価実施時期	R7	交付対象事業費	63	国費率	0.5								
1)事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	生活基盤整備事業												
		提案事業	○なし												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	○なし			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	○なし												
	新たに追加した事業	基幹事業	○なし												
提案事業		○なし													
交付期間の変更	当初	H28~H30		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	影響なし										
	変更	H28~H31													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	生活基盤整備状況に対する満足度	%	58.7%	H26	68.7%	H32	モニタリング	評価値	62.6%(R2)	△	あり なし	●	評価値は目標に達しなかったが生活基盤整備状況に関する満足度調査において、「満足」または「どちらかというと満足」と回答する割合が従前値から上昇の傾向にあることから、一定程度の効果も上げたと考えられる。	-
	指標2	公益施設(病院)利用者数	人/日	626人/日	H27	1,011人/日	H32			954人/日(R2)	△	あり なし	●	外来患者は移転前である前年比から微増に留まったこと、また移転に伴う入院患者の縮小があったものの前年を上回る患者数となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により訪問介護などの利用控えが影響したものと考えられる。	-
	指標3	空家リノベーションによる商店等の増加	件	3件	H27	15件	H32			14件(R2)	△	あり なし	●	2017年から2019年にかけてリノベーションスクールを各年1回計3回、リノベーションまちづくりに関する講演会を開催し、これらの参加者が遊休化した不動産をリノベーションし、新規開業したものの、開業に係る事業計画や資金調達のための計画と不動産オーナーとの調整が予定より後ろ倒しになった件もあることから、未達となった。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1	駅周辺・中心商店街地区交通量(平日)	人	3,107	H28					3,409				観光など行楽行事の影響が少ない平日において、施行区域内の歩行者数が増加した。特に生活基盤整備地と総合病院の間の歩行者数が増加しており、回遊性の向上に寄与したものと考えられる。	-
	その他の数値指標2														
	その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催のリノベーションスクールの開催後においても、施行区域内への空き店舗を活用した新規創業に対する補助制度を創設することで遊休不動産の活用が進んでいる。 ・花巻中央広場において、市主催による冬期間のイルミネーションの開催や、民間によるマルシェや祭り会場などの利活用がされている。 														
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	実施していない			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	広場整備における意見交換会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備予定の広場の利活用方法等について、平成29年8月に意見交換会を実施。意見をいただき、給水や給電等の整備が反映された。						
持続的なまちづくり体制の構築	花巻リノベーションまちづくり構想の策定			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 民間事業者を中心とした花巻リノベーションまちづくり構想策定委員会により、令和3年3月に花巻リノベーションまちづくり構想が策定された。その後策定委員会は廃止されたが、遊休不動産の活用を推進する市内の家守会社が中心となり、元委員間の継続的な交流ネットワークを構築し、定							

様式2-2 地区の概要

花巻中央地区(岩手県花巻市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
・交通ネットワークの再構築による快適な歩行空間の確保 ・医療機能の充実強化、適正配置及び多機能化による市街地における安心な暮らしの実現 ・遊休不動産とまちの資源を活用した民間活力による賑わいの創出	生活基盤整備状況に対する満足度	単位： %	58.7 H26	68.7 R2	62.3 R2
	公益施設(病院)利用者数	単位： 人/日	626 H27	1,011 R2	954 R2
	空家リノベーションによる商店等の増加	単位： 件	3 H27	15 R2	14 R2

□関連事業
道路事業 城内大通り一丁目線

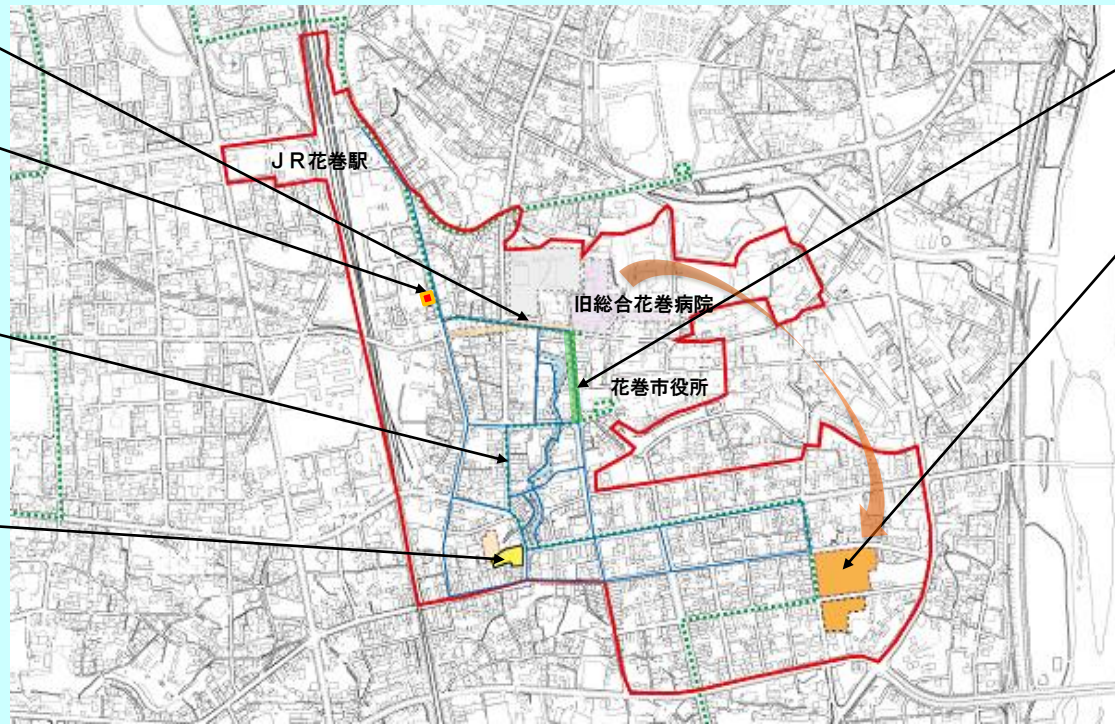
□関連事業
リノベーションまちづくり事業(民間主体)



□関連事業
市街地循環バス増設事業



■基幹事業
地域生活基盤施設整備
(花巻中央広場整備)



□関連事業
道路事業 上町花城町線

□関連事業
《都市機能立地中支援事業》
- 総合花巻病院移転整備
- 花巻高等看護専門学校移転整備
特定生活介護施設整備
保育所等整備



凡例
 施行区域
 基幹事業
 関連事業
 循環バス路線
 歩行者回遊路

まちの課題の変化
 ・上記関連事業のほか、民間遊休不動産を解体した跡地に災害公営住宅や地域優良賃貸住宅を整備しており、まちなか居住が促進されている。その一方で、中心市街地においては空き家などの遊休不動産、遊休土地がみられることから、今後も市街地における賑わいと活力を取り戻していくため、空家ストック、遊休土地の活用をいかに図っていくかが課題となる。
 ・遊休不動産を活用した新規開業が継続的に確認できている。今後もエリアとしての活力を生み出すため、市が行うまちなか創業支援補助金の周知に努め、さらなる振興を図る。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 ・空家ストックを活用したまちなか居住の促進が必要と考え、空き家を解体、活用する際に解体費に対する補助を行い、また一定程度の宅地造成に係る費用の一部を補助する制度、さらに子育て世帯向けの住宅取得に係る奨励金交付制度を創設し、花巻市立地適正化計画に定める居住誘導区域及び都市機能誘導区域(=施行区域)を対象エリアとして補助事業を実施していくことで、コンパクトなまちづくりを図っていく。